当社が考えるインテグリティ
エリオットグループ行動基準

「相対性は物理法則では成立しても、
倫理に持ち込んではならない」

目次

企業理念 4

最高経営責任者からのメッセージ 5

私たちの約束 6

コーポレートコンプライアンスディレクターからのメッセージ 7

基準に従った生き方 **9**

荏原グループの行動基準の順守 11

公正な態度 13

アドバイスを求める - 質問例 **15**

行動基準違反 17

行動基準違反の報告 19

当グループのグローバル関係 **21**

代理店、コンサルタント、営業 23

政府との関係 25

人権 27

相互保護 27

環境保護 29

紛争鉱物 29

ベストプラクティス **31**

差別、嫌がらせ、職場内暴力 33

贈与、もてなし、その他のビジネス上の優遇措置 35

贈収賄防止 37

汚職防止 39

制裁および貿易禁輸措置 41

政治活動 43

利害の衝突 45

正確で完全な記録、および監査手順 47

知的財産権、特許、著作権、商標 49

情報と会社の資産を保護 49

この「エリオットグループ行動基準ガイド」は、「エリオットグループ行動基準」が示す原則について、より明確な説明を与えるものです。「エリオットグループ行動基準」各国語版サイト：
www. Elliott-turbo.com/Compliance.asp

◁アルバート・アインシュタイン

企業理念

エリオットグループに求められているものは・・・

公正

エリオットグループは、公正かつ誠実であることを誇りとしています。いかなる状況であれ、偏見、差別、嫌がらせは許しません。

インテグリティ

倫理に反する事業活動は、一切行いません。当グループの名声と持続的な成功は、私たち一人ひとりの、極めて誠実かつ信頼に足る行動によるものです。

信頼性

私たちは約束を守ります。世界中で展開している事業とプロセスを統合し、世界中のお客様がいつどこで当社をご利用になっても、変わらない満足を提供します。

安全管理

ともに働く同僚、パートナー企業、お客様、近隣住民の安全は、当グループの最優先事項です。

チームワーク

私たちは一致協力してお客様の喜びを追求します。

そして世界は、エリオットを最初に選ぶのです。

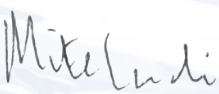
最高経営責任者からのメッセージ

エリオットグループは、その献身的な社員達が100年以上にわたって築いてきたすばらしい名声を享受しています。 その名声は、製品やサービスの優れた品質だけでなく、私たちのインテグリティ（誠実さ）によるところが大きいのです。　当グループのお客様は、私たちが正しく行動するということに信頼をおいています。この信頼こそ、私たちの最大の財産です。したがって、当グループのすべてのメンバーは、公私共に最高レベルの倫理と道徳を実践し、この財産を守らなくてはなりません。

ビジネスの世界は多様であり、経済的、政治的、文化的に常に変化し続けています。ある国では可能である取引が、別の国では違法となる場合もあります。エリオットグループと、その親会社である荏原製作所は、グループ従業員が法と倫理を順守する上で必要な情報とサポートを提供すべく尽力しています。「エリオットグループ行動基準」は、この取り組みの要です。「行動基準」では、当グループの法規制上の責任を示すとともに、正しく行動するためのアドバイスを掲載しています。

私は、当グループの従業員の皆さんが、お客様やビジネスパートナーからの信頼、信用を守るべく日々努力していることを、誇りに思っています。 正しいことは何か、その判断が時に難しいこともあります。「エリオットグループ行動基準」の適用において不明な点がある場合、また正しい行動の実践について意見がある場合は、ぜひそれぞれの上司や当グループのコーポレートコンプライアンスディレクターに相談してください。

よろしくお願いいたします。



エリオットグループ

最高経営責任者
Michael Lordi

私たちの約束

私たちの製品とサービス

当グループの製品およびサービスを評価する際の基準は、卓越性です。　優れた安全性と品質を通じて、卓越性を追及します。

当グループの人々

エリオットグループの従業員は、常に妥協のないインテグリティと倫理をもって行動します。安全、信頼、効率のもとに業務を遂行します。

エリオットグループの代理店並びに販売者も、企業ポリシーの根幹であるこの「行動基準」に準拠することが求められています。

当グループの行動基準

エリオットグループを代表して行動するすべての人は、あらゆる適用法や規制に準拠し、適切な社会的習慣と道徳意識に従うものとします。

私たちの世界

当社はグローバルな環境保全と、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。

当グループのグローバル関係

当グループは、社会、市場、お客様、サプライヤー、株主、従業員、そしてエリオットグループを取り巻くあらゆる関係者と、公正かつ透明な関係を維持する義務を負っていることを認識しています。

コーポレートコンプライアンスディレクターからのメッセージ

私たちの日常の行動は、職場でも職場以外でも、お客様や同僚、コミュニティ（地域社会）に印象を残します。つまり私たち1人ひとりの行動によって、企業イメージが決まるのです。

1世紀以上にわたり、インテグリティは常にエリオットグループの成功の礎となってきました。インテグリティは当社とその従業員に、信用、品格、信頼に基づく社風を醸成する力を与え、世評として定着しています。正しく行動することは、自分自身に課す強い責任であり、また、お客様とビジネスパートナーに対する誓約でもあります。私たちは日々インテグリティを守り続けているのです。

エリオットグループ行動基準、ならびに本コンパニオンガイド「インテグリティの道」には、適切かつ法律と倫理を守った事業行動に関する指針が掲載されています。「インテグリティの道」は、皆さんが業務上で経験する可能性がある現実的なシナリオを通じ、インテグリティを指針として複雑でグローバルなビジネス環境に対処できるよう構成されています。

世界各国で、また全社において、倫理と法律を守った行動は当社の事業基盤となっています。法規制や文化基準は国によって異なりますが、皆さんには国内外の法規制をすべて尊重し遵守すること、また、常に業務上や商取引上で最高水準のインテグリティを維持することが期待されています。

私たち全員に、エリオットの行動基準を理解し守る責任があります。ですから、選択するときには、常に正しい行動を選択してください。多くの場合、正しい行動は自然に選択できますが、時には正しい選択肢がはっきりわからないこともあります。正しい選択が何か迷うことがあれば、いつでも質問してください。

インテグリティを守る取り組みに、どうぞご協力ください。

よろしくお願いいたします。

Rosalie Bell

コーポレートコンプライアンスディレクター

「話を聞いただけでは、忘れてしまいます。
目の前に見せてくれたら、覚えているかもしれません。
実際に参加したなら、私はきっと理解します」

基準に従った生き方

「身正不怕影子斜」
（行い正しき者に
悪評の恐れなし）

荏原グループの行動基準の順守

エリオットグループの継続的な成功と発展は、お客様やパートナー企業からの信頼と信用にかかっています。 その信頼と信用を維持するには、エリオットグループの従業員の皆さんが、業務のあらゆる局面において、インテグリティや信頼、責任ある企業であると示すことが非常に重要です。

エリオットグループは、荏原製作所の子会社として、「荏原グループ行動基準」に定められた5つの原則を順守します。 何をする場合も、常に以下を念頭に置いて行動します。

- いかに些細な行動でも、結果が重大なことになる場合があることを認識する
- 行動する前に、その目的と手段を確認する
- 確立された手順や規則に従い、あらゆる法規制に準拠する
- 行動の結果を振り返り、その責を負う
- 個人的責任にとらわれず、広い視野で考える

エリオットグループの全従業員は、単独業務かグループ業務かにかかわらず、これらの基本原則に基づいて行動します。極めて些細な行動が深刻な結果を引き起こす場合もあるので、常に明確な業務目標を策定します。

その目標を完遂する上で必要なステップを十分に分析するまで、行動に移さないでください。 分析時には、確立された手順や規則、規制、その行動がもたらす結果についても分析します。 たとえ直接的責任はなくとも、自らの行動の責任は自ら負うことを認識しています。

「エリオットグループ行動規定」は、エリオットグループの親会社である「荏原グループ行動規定」を基に策定されています。 「エリオットグループ行動基準」には、法務、社会、倫理、事業などの要件を満たす修正が組み込まれますが、「荏原グループ行動基準」や各種規制に矛盾または干渉したり、効力を制限するものではありません。これらの「行動基準」はインターネットで閲覧できます。

www.ebara.com/en/csr/code-of-conduct.html

www.elliott-turbo.com/Compliance.asp

「全片的第一句台詞、也是第一次出現」
（善人の何たるかを無益に語るなかれ、善人たれ）

公正な態度

エリオットグループは公正で倫理的なビジネスを遂行します。 倫理に反する行いや違法行動は、一切許容せず、行いません。エリオットグループの各従業員はお客様、サプライヤー、競合他社、近隣住民のすべてに責任を持って対応します。

材料情報の操作や秘匿、特権情報の悪用、その他一切の不公正な行いによる不正利益の取得は、書面により禁止されています。

不公正な行いの例の一部として、

- 競合他社が持つ独自情報の不正入手
- 競争入札価格の不正申告や操作
- 利害関係者の機密情報の取得や使用
- 他社の現従業員または元従業員にこうした情報を要求
- ビジネスチャンスを得る代わりに不適切な支払い
- 価格固定や談合

エリオットグループでは全従業員に対し、こうした状況への対処法について、上司やグローバルコンプライアンス事務所に相談するよう推奨しています。

質問例

Q 同僚が、お客様が契約に署名するまで納期情報を秘匿することが多いのです。お客様に対して、また私たちの業務に対して、公正なやり方とは思えません。どうしたらよいでしょうか。

A お客様の信頼こそ、エリオットグループ最大の財産であることを思い出してください。 情報の秘匿や間違った情報の提供は、当グループの名声に永久的なダメージを与え、今後のビジネスを失ってしまいます。 その同僚と、あなたの懸念について話し合うこともできますが、そうした会話に抵抗があれば、上司やグローバルコンプライアンスオフィスにご相談ください。

Q 高価なコンポーネントを最適価格で入手したいのです。 競合他社がその品に付けた価格をうっかり開示してしまいました。 この情報を基に、サプライヤーからより安い価格を引き出してもいいでしょうか。

A あなたが受け取った価格設定情報は、非公開の独自情報です。 どのような形であれ、この情報は使用できません。 この情報がうっかり自分にもれてしまったことをお客様に伝え、情報は削除してください。 同時に上司とグローバルコンプライアンスオフィスにこの情報を伝えてください。

「インテグリティがあれば、
誰も見ていなくても、正し
い行いができます」
CRAFT

アドバイスを求める - 質問例

エリオットグループの各従業員は、「エリオットグループ行動基準」に目を通し、習熟する必要があります。もっとも基準には、準拠すべき法、規則、規制、ポリシー、標準のすべてが記載されているわけではありません。

基本的に、私たちの行動は当グループの道徳的指針に準拠しなければなりません。常に正しく、倫理、道徳にかなう行動を取ってください。 当グループの業務には多数の法が適用されるので、時に複雑で、相反し、不明確なこともあります。 適切かつ適法な行動が不明確な場合は、最上級役員から新人に至るまで、皆さんぜひ積極的に相談するようお願いします。

まずは、直属の上司に相談してみましょう。上司に相談して解決できなかった場合、あるいは理由があって上司に相談したくない場合は、コーポレートコンプライアンスディレクターのRosalie Bellに相談してください。連絡先は以下のとおりです。

電子メール: **rbell@elliott-turbo.com**

電話: **+1 724-600-8213**

携帯: **+1 724-205-8326**

違法行動に至っていない限り、グローバルコンプライアンスオフィスに質問しても叱責や処罰を受けることはありません。 叱責や処罰の対象となることをしてしまう前に、相談してください。エリオットグループのポリシーは、法的側面のある行動についてはグローバルコンプライアンスオフィスか法務部に相談するよう従業員に義務付けています。

状況がはっきりするまで名前や所属を明かしたくない場合、エリオットグループの従業員は世界中どこででも「REPORT IT!」ホットラインを利用できます。

「REPORT IT!」(報告しましょう!)は、秘密情報保持に関する北米の第三者機関で、トレーニングを受けた人が1日24時間年中無休でインターネットまたは電話で対応します。このサービスを利用する場合はwww.reportit.netを開くか、フリーダイヤルの1-877-778-5463番(北米の場合)にお電話ください。 インターネットと電話のユーザー名とパスワードは共通です。

REPORT ITを利用するには

電話:**1-877-778-5463**

Webサイト: **www.reportit.net**

ユーザー名: **elliott**

パスワード: **turbo**

「ビジネスは、多少の
例外はあれ、最も厳
格なインテグリティ
の先に成立するもの
である」

行動基準違反

私たちの「行動基準」は、エリオットグループの全従業員に対し、単に規則に従い、法を守る以上のことを要求しています。常に正しい行いを貫いてください。

正しい行いが何かは、時として不明瞭な場合もありますが、意図のあるなしにかかわらず、この基準に定められたポリシーのどれか1つにでも反するような行動は、従業員の皆さんを「行動基準」違反に陥れる可能性があります。 例えば、利害対立の可能性を明かさない従業員、調査に参加しない従業員は、基準違反の可能性があります。

「行動基準」の違反は解雇を含む懲戒処分の対象となる可能性があります。 エリオットグループでは、違反や違法行為は当局に通報し、適宜、法の訴追や法的制裁措置を受けることもあります。

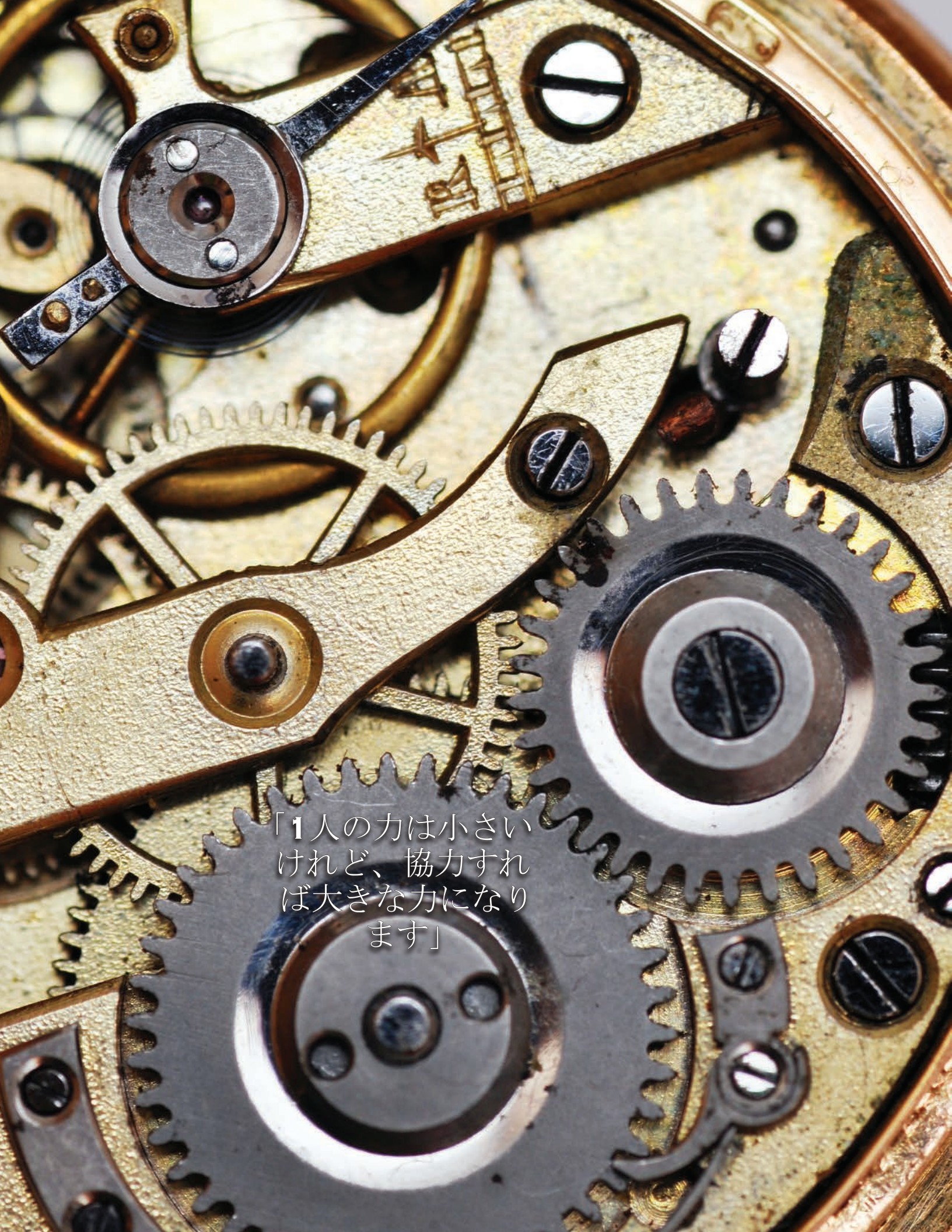
質問例

Q 誕生日にサプライヤーからギフトカードをもらいました。そのギフトカードで、妻と一緒に高級レストランのディナーを楽しみました。 基準に違反した行動だったのでしょうか。

A はい。 たとえ単なる友情の印のつもりだとしても、ギフトカードを受け取ったということは、エリオットにおけるビジネス関係から個人的利益を受けたことになります。また、他の利害関係者から金銭を受け取ることは決して許されることではありません。ギフトカードは金銭同様と見なされます。

Q 上司が同僚に危険な作業を命じているのを耳にしました。エリオットグループの安全基準に反する可能性があります。 自分が上司から命じられたわけではないため、上司や同僚の感情を害したくないと考えています。 同僚が自分で対処するに任せておいてよいでしょうか。

A この場合、あなたに直接の関わりはありませんが、懸念を伝える義務があります。 直属の上司や、さらにその上の上司と談判したくない場合は、直ちにコンプライアンスオフィスに電話し、懸念を伝えてください。 名前や所属を明かしたくない場合は「REPORT　IT」サービスも便利です。 この件は安全性に関わるため、タイミングが極めて重要です。「作業停止」を請求してください。


「1人の力は小さいけれど、協力すれば大きな力になります」

行動基準違反の報告

エリオットグループで倫理や法にもとる行動が発生しないようにする責任は、私たち全員にあります。「行動基準」違反が疑われる場合は、直ちに直属の、また適切ならさらに上の上司に報告する義務があります。違反行為の懸念を無視、軽視することは、それ自体「行動基準」違反となります。　エリオットグループでは、違法行為の懸念に関する善意の報告に対する報復は許しません。

何らかの理由で上司に違反の懸念を伝えにくい場合、グローバルコンプライアンスオフィスに連絡してください。繰り返しますが、報告によってあなたが不利益を被ることはありません。　報告された「行動基準」違反は、すべて調査対象となります。 申し立てを受けて違法行為の内部調査を行う場合、従業員は協力が義務付けられています。

匿名での報告を希望する場合は「REPORT　IT!」ホットラインを利用できます。「REPORT　IT!」（報告しましょう!）は、秘密情報保持に関する第三者機関で、トレーニングを受けた人が1日24時間年中無休で対応します。　このサービスを利用する場合は、世界中どこからでも、www.reportit.netを開くか、通話料無料の1-877-778-5463番で北米にお電話ください。　インターネットと電話のユーザー名とパスワードは共通です。

REPORT ITを利用するには]

電話：**1-877-778-5463**

Webサイト：**www.reportit.net**

ユーザー名: **elliott**

パスワード: **turbo**

質問例

Q エリオットに入ったばかりですが、小型ローターを持ち上げて配置する工程が危険だと思います。「REPORT IT!」に電話すべきでしょうか。

A 安全上の問題が疑われる場合は、直ちに行動する必要があります。　必要とあれば「作業停止」を請求してください。　その後、上司と話してください。　「REPORT　IT!」は、名前や所属を伏せられる点で便利なチャネルですが、喫緊の安全問題に対し、対応が出遅れる場合もあります。

Q エリオットでは、違反の疑いが報告されたとき、どのように対応しますか。

A エリオットグループでは、上司への相談、コンプライアンスオフィスへの直接相談、「REPORT IT」の利用のうち、どのチャネルで報告しても、すべて調査対象となります。守秘行動の徹底には極力努めますが、通常、細かい調査においては関係者全員の参加が必要です。エリオットグループでは、それが善意に基づく限り、不適切、または倫理や法に反する疑いのある行動を報告したことに対し、いかなる報復も禁止されています。

Q 「行動基準」違反の報告の際、どのような情報が必要ですか。

A エリオットグループが直ちに正確な調査を行えるよう、できるだけ詳細な情報を提供してください。誰が（Who）いつ（When）どこで（Where）なぜ（Why）何（What）をしたか、目撃者（Witness）は誰かという6つのWを簡単に答えてください。

「私たちの後ろにあるものも、前にあるもの
も、私たちが内に秘するものに比べれば
些末である」

当グループのグローバル関係

◁ Ralph Waldo Emerson

「人格は木、名声は
木の影に似ている。
影は思想、木は実体」

代理店、コンサルタント、営業

代理店、営業、エリオットグループの一員として行動する第三者は、最高レベルのインテグリティをもち、当グループのすべての従業員に義務付けられるのと同じ最高レベルの倫理基準とポリシーに準拠しなければなりません。

エリオットグループのグローバルコンプライアンスオフィスと法務部は、代理店、コンサルタント、営業、当グループを代表する可能性のある第三者のすべてを採用前に評価、承認する必要があります。

エリオットグループは、第三者との契約はそのメリットに基づいて結びます。　エリオットグループとその従業員は、成功報酬、手数料、リベート、案件獲得目的の割引をはじめ、いかなる形の見返りも授受しません。

質問例

Q エリオットグループの実績がほとんどのない国において知名度を高めるために、営業を雇用したいと考えています。どうすればよいでしょうか。自己裁量で雇用して構いませんか。

A 業務上、その地域に営業を置く必要性があるかどうかは、エリオットの経営陣がまず判断すべきことです。　必要がある場合でも、提案された営業がエリオットの事業要件を果たすに適切かどうかは、エリオットの事業部門が判断します。

その後、事業部に加え、法務、財務、コンプライアンスの各部門に関わるデューディリジェンスプロセスに従って私たちが候補者を詳しく調査します。　このプロセスにより、倫理、法、財務、経営上のさまざまな要因、評判まで検討することになります。　エリオットグループの営業は「エリオットグループ行動基準」を熟知し、準拠を約束する必要があります。

「今日一日の計画を立てよ。毎日立てよ。
それから実行すべし」

政府との関係

国営石油企業などの政府機関、政府関係者、政府職員とエリオットグループの契約は厳に慎み、契約したと誤解されかねない行為も防ぐ必要があります。 エリオットグループは、政府との契約に関連して、議員選出者をはじめとする政府関係者に影響を与える、または与えようとする人物に報酬を提供しません。

35ページの「贈与、もてなし、その他のビジネス上の優遇措置」の表にあるような業務上の優遇措置以外、エリオットグループの従業員とそれを代表する者は、政府関係者、代理人、職員に対し高額贈答品の供与やその提案をすることは禁じられています。 エリオットグループとその従業員は、政府関係者の親族や友人に職を斡旋しません。

政府関係者への贈与や勧誘は、相手に提供を申し出る前に、自分の上司または事業部の副事業部長に話をし、是非を確認する必要があります。さらに不明な点があれば、グローバルコンプライアンスオフィスに問い合わせてください。

質問例

Q 10人程のチームで10年担当しているプロジェクトがあります。メンバーの3人はガスラナスタンの政府職員です。 今度このプロジェクトのメンバー全員をディナーに招き、エリオットの経費として計上したいと思っています。よろしいでしょうか。

A 事前に承認を得ていなければ、政府関係者、政府職員には一切何も供与しないでください。まず現在の状況と提供するものの価値について上司に説明し、所属事業部の副事業部長の承認を得なければなりません。

Q アジアのある国営石油企業が当社製設備を購入し、それに関するトレーニングのため4名を当社に派遣しています。 彼らは、当社研修期間中の週末に別の街を訪問したいと、当社にそのアレンジと費用負担を依頼してきました。 この週末旅行の費用を支払ってもよいでしょうか。

A いいえ。エリオットグループはこの旅費は支払いません。お客様の要求は、当グループの事業や製品、研修とは無関係です。 さらに、政府関係者、政府職員に対する供与には、厳格な法規制があります。賄賂の提供や、事業決定に不正な影響力を行使しようとするような、またはこれを示唆する行動は、すべて厳に慎む必要があります。

「人の真価は万事順調な時
ではなく、逆境で戦う時
に表れる」

人権

エリオットグループの従業員、代理人、ビジネスパートナーは、万人の人権を尊重し、これを守るよう義務付けられています。 エリオットグループは、万人が人間として平等に扱われる権利を持ち、その権利が守られるべきであるという基準は、国籍、性別、人種、年齢、経済状態によって矯められないという事実を極めて大切に考えています。 エリオットグループは、このゆるぎない権利の侵害を許しません。当グループは、差別反対、および安全、健康、環境を重視するグループポリシーを忠実に守らなくてはなりません。

質問例

Q 東南アジアでフィールドサービス部門のエンジニアをしています。 溶接修理のため、地元工場に何度かコンポーネントを送りました。 この工場は仕事はいいのですが、従業員の一部かは既定の年齢に満たないのではと感じています。この児童労働の可能性に対し、どう行動すればよいでしょうか。

A まず、自分の懸念を上司に相談し、この問題を詳細に検討すべく上司のサポートを仰いでください。 エリオットグループは、いかなる状況であれ、児童労働禁止法を犯すサプライヤーや請負業者とは取引しません。上司の対応が不十分だと感じた場合は、グローバルコンプライアンスオフィスに問題への対応を依頼してください。

相互保護

安全はエリオットグループの最優先事項です。 私たちは、安全研修プログラム、工場の安全規則、定例安全会議、リスクや危険をさらに低減するための事故記録のデータベースなど、全社を通じて安全重視の文化の醸成、維持に十分な経済的、人的リソースを注いで努めています。

エリオットグループでは、一人ひとりが、現場やオフィスで自分自身、自分の同僚、仕事仲間、チームメイトの安全に責任を負っています。 安全保持には積極的に取り組んでください。 安全上のリスクがある、または差し迫った危険がある場合には、問題を排除、修正、隔離すべく即座に行動する必要があります。エリオットでは、誰でも「作業停止」の請求が可能です。

質問例

Q 夜勤の同僚が眠そうにしており、担当機械に十分な注意を払っていないようです。本人に尋ねると、肩こりを和らげるために市販の鎮痛剤を服用しているだけだから大丈夫とのことでしたが、 けがをするのではないかと心配です。どうしたらよいでしょうか。

A その懸念をすぐに上司に報告してください。 この状況では、強硬な「作業停止」請求が必要かもしれません。 市販薬の服用という事実から、本人の体調は作業に不適切です。 体調不良により、本人および周囲の安全が危険にさらされています。 エリオットグループは、安全かつ効果的な業務遂行を妨げるような物質を摂取して業務に従事することは許可しません。

「世界を変えたければ、自分が変わることです」

環境保護

環境保護はエリオットグループ全員の責務です。 エリオットグループでは、環境への廃棄物、放出物、排出物の削減、防止に努めています。

当グループの全従業員は、自身の業務が環境に与える影響を理解し、環境にやさしい方法で業務を行う責任があります。 当グループでは、全拠点に環境コンプライアンスの担当者を置いていますが、当グループの一人ひとりが、業務に関わる環境関連法規制を順守する責任があります。

質問例

Q 修理工場で働いています。昼休みにはエリオットの敷地のすぐ外を散歩することが多いのですが、 最近、工場のすぐ下流の小川で水面に油膜が浮かんでいるのに気づきました。 この油の出どころはわかりません。どうしたらよいでしょうか。

A エリオットグループは、あらゆる環境関連法規制に準拠しており、すべての施設で積極的に環境保護に取り組んでいます。 環境問題の可能性を報告しないことは、それ自体が「行動基準」の違反となります。 自分が見たものを上司に報告し、地域のHSEマネージャか工場管理者にこの問題を伝えるよう依頼しましょう。 その結果がよくわからない、または解決が不十分な場合は、グローバルコンプライアンスオフィスに状況を通知しましょう。

紛争鉱物

コンゴ民主共和国およびその周辺国の武装反乱分子による地元住民への人権侵害行為と環境破壊を受けて、国際社会は制裁措置を取ることとなりました。 これらの国々で採掘されたスズ、タンタル鉱石、タングステン、金などの鉱物は、反乱分子の資金源となることから、「紛争鉱物」と呼ばれています。

武装反乱分子への資金提供を減らすため、企業は自社製品に紛争鉱物を使用しないよう真剣に取り組んでいます。 エリオットグループでは、この紛争鉱物の問題を極めて真摯に受け止めています。当社はサプライヤーと協力し、当社製品の材料調達にあたっては、人権侵害に関わる武装グループがいかなるメリットも享受しないよう、積極的に取り組んでいます。

質問例

Q 英国のお客様から、当社が製造や修理に紛争鉱物を使用していない旨を証明する書類を提出するよう求められました。 この要求について、どこに相談すればよいでしょうか。

A 当グループでは、サプライヤーにもグループ内と同じ、高いインテグリティを求めています。ペンシルベニア州ジャネットにある法務部と国際資材調達部の協力を要請すると、ご要望の証明書類をお客様に提供できます。

「正しい行いを貫く意志
がなければ、極めて合理
的に倫理を求める道さえ
危うい」

ベストプラクティス

◁ Alexander Solzhenitsyn

「澄みきった良心は
人を強くする」

差別、嫌がらせ、職場内暴力

エリオットグループは、敵意や対立行動のない安全な職場環境作りを促進します。　私たちは、人種、年齢、身体障害、宗教、性別、出身国による差別や嫌がらせを一切容認しません。

従業員は差別的中傷や蔑称の使用を禁止されています。 従業員は、脅迫、攻撃、屈辱を感じさせる職場環境を生む一切の行動や行為をしてはいけません。人種、宗教、民族性、性別、年齢に関する攻撃的なコメント、冗談、図画なども厳に慎む必要があります。

セクシャルハラスメントとは、好ましくない誘い、接触、不適切な性的冗談、性を意識させるような発言、容姿に関する不適切な発言など、好ましくない行為すべてです。　セクシャルハラスメントは脅迫に限らず、性的関係の見返りに利益提供すると言う、またはほのめかす行為も含みます。

エリオットはいかなる職場内暴力も容認しません。職場内暴力とは、他者を物理的に害する行為、嫌がらせ、脅迫、強制、凶器の使用、またそのような行為の強制など、物理的嫌がらせを指します。

質問例

Q 男性20人の部署に2人きりの女性従業員の1人です。 ほとんどの同僚は模範的な態度ですが、私ともう1人の女性が女の魅力で仕事を手に入れたと言ってからかい、失礼な冗談を言う人が数人います。こうした発言に反論すると、笑い声を上げさらにトゲのある言葉を投げつけてきます。 仕事は気に入っていますが、このような会話は嫌いです。 どうしたらよいでしょうか。

A 同僚たちは、ただ面白がっているだけのつもりかも知れませんが、その行動によってあなたたちが不愉快な思いをしているのですから、紛れもないセクシャルハラスメントです。 まずは上司にその状況について相談してください。 何らかの理由で上司に相談したくない場合は、所属地域の人事担当者に直接話をしてください。

Q 自分が担当するプロジェクトの現状報告をするため、上級経営幹部に対してプレゼンテーションを行いました。 担当チームも私も納得のいく仕事ぶりです。 ところが、心外なことに、プロジェクトにとって重要ではないと思う問題について、この上級経営幹部からチームの面前で痛烈な批判を受けました。そのコメントは個人的で不適切なうえ、私たちのプロジェクト業務と無関係だと思いました。 このことに関して、何ができるでしょうか。

A エリオットグループでは、一人ひとりが敬意と尊厳をもって扱われる必要があります。 私たちはいかなる嫌がらせ、攻撃的行為、侮蔑的行為も存在しない職場環境作りを推進します。 ある行為が嫌がらせかどうかは、本人の意図や行為によってではなく、相手が受けた影響によって判断されます。

自分に傷つく言葉を言った相手と個人的に話し、その言葉で自分がどう感じたかを伝えてみるのはどうでしょうか。 この方法がとりにくい場合は、その状況について人事部の管理責任者に相談するか、グローバルコンプライアンスオフィスに報告してください。

「習慣の積み重ねによって徳は高まる」

贈与、もてなし、その他のビジネス上の優遇措置

相互接待は、企業間の信頼関係を醸成し、取引関係を発展させる一般的な商慣行です。 しかしながら、贈与には事業決定に影響を及ぼす不正な試みとみなされることがあります。 このことを念頭に置き、エリオットの従業員は、事業決定に影響しえない、ごくささやかな贈り物のみ提供できます。 エリオットの従業員が贈与を受ける場合も同様のポリシーが適用されます。 外部関係者から贈与を受けた場合は、必ず上司に報告します。

現金、またはギフトカードのように換金性が高いものは、業務上授受が許される贈り物ではありません。贈与が許される品物やもてなしは、エリオットのロゴ入りTシャツやささやかな食事のレベルに限られます。ささやかな贈り物であっても、お客様に提供する前に、お客様の会社のポリシーに反していないかどうか確認しましょう。

政府関係者、職員、国営石油企業などの政府機関に対しては、一切の贈与やもてなしが許容されず、違法となるのが一般的です。 このような事情があるため、贈り物を提供する際は、事前に承認を受ける必要があります。 下表に示した厳格なガイドラインを参照してください。

質問例

Q 担当地域のお客様やサプライヤーを集め、プライベートクラブでゴルフ会を開催する予定です。 エリオットからも営業や代理人が参加する予定です。 お客様は3社から数名を招きたいと考えています。 このイベントでは、カクテルとディナーでもてなし、招待者一人ひとりにエリオットのロゴが入ったゴルフカップとゴルフボールを渡します。 招待者1人あたり100ドル程度の費用となります。これは許容されますか。

A はい。今説明されたようなゴルフ会は、業務上妥当なもてなしとして許容されます。 このイベントは、特定の事業決定に影響を及ぼすものではなく、地域全般のお客様と相互信頼を強め、エリオットの取引関係を強化するための試みです。 会の開催と贈与にかける予定金額も妥当な範囲に収まっています。

政府関係者、政府職員、政府機関に対して業務上の接待や贈与を行う際のガイドライン

優遇措置	金額	当選または指名された政府関係者	政府職員	政府機関
業務上接待で許容される食事	1人1回あたり25ドル未満かつ年間50ドル未満	**事前**承認を事業部門のVPとコンプライアンスから受ける	**事前**承認を直属の上司から受ける	**事前**承認を直属の上司から受ける
	1人1回あたり25ドル超かつ年間50ドル超	**事前**承認を事業部門のVPとコンプライアンスから受ける	**事前**承認を事業部門のVPから受ける	**事前**承認を事業部門のVPから受ける
贈り物	**事前**承認を事業部門のVPとコンプライアンスオフィスから受ける			
もてなし	もてなしは一般に許容されません。 極端な状況下でも、あらゆるもてなしは事業部門の副事業部長の事前承認を受けるとともにコーポレートコンプライアンスディレクター、最高執行責任者、最高経営責任者のいずれかの事前承認を受けるものとします。			

「濁りのない良心ほど安らげる枕はない」

贈収賄防止

贈収賄は他の個人または団体に対しメリットを提供して、不当な事業利益を得ようとする試みのことです。　相手が受けるかどうかは関係なく、提供を申し出る行為自体が贈収賄に相当します。　エリオットグループは、いかなる種類、いかなる場所、いかなる目的であっても、贈収賄を禁止します。「贈収賄」は、金銭に限定されず、価値のあるものすべてが含まれます。 米国海外腐敗行為防止法、 日本の不正競争防止法や国家公務員倫理法、英国贈収賄禁止法など、贈収賄防止に関する多くの法規制により、不正なビジネス上の便宜や利益を得る目的で政府関係者や政府職員に見返りを与えることは禁じられています。

贈収賄防止関連法規制に違反すると、従業員やエリオットグループは重大な刑事責任、民事責任を問われます。　不正な見返りの提供に関わったエリオットグループ従業員は、誰であれ、免職を含む懲戒処分の対象となります。

外国のコンサルタント、営業、代理店を通じてビジネスを行うとき、あるいは外国政府が全部または一部を所有するようなビジネスや政府関係者と個人的つながりを持つようなビジネスを行うときには注意が必要です。　そのような場合には、すぐグローバルコンプライアンスオフィスに相談し、具体的助言を受けてください。

質問例

Q エリオットグループの営業が、中東のお客様のために本社での会議を設定しました。　お客様は会議の後、ワシントンD.C.で数日過ごすことを希望しています。 この営業は、エリオットグループがお客様のワシントンD.C.滞在費を負担しないことは理解しています。　そこで自分がお客様のワシントン旅行を設定し、旅費を負担すると提案しています。これに問題はないでしょうか。

A エリオットグループの営業や代理店は、エリオットの分身のようなものとして機能します。　営業や代理店は、エリオットの行動基準を順守することが求められており、エリオットが直接行えないことを間接的に行うことは、何であれ許可されていません。　エリオットグループは、業務に無関係な理由でお客様の出費を肩代わりすることを固く禁じています。　エリオットグループやその代理店が業務とは無関係な費用を支払うと、お客様の個人的便宜を図ることで、エリオットがビジネス上の不正な利益を得ようとしていると誤解される可能性があります。　お客様の旅費の支払を申し出たことは、この営業はエリオットの行動基準下で自分が担うべき責任を理解していないことを示しています。

Q 南米の営業です。 会社から新しいノートパソコンを支給されました。 古いコンピューターはハードドライブを破壊し、廃品処分するよう指示されました。　自分が担当するお客様には十代の子息があり、この古いコンピューターを自分専用にすることができれば、喜ぶでしょう。 ハードドライブの中身を消去すれば、コンピューター本体はこの少年に譲り渡してもかまわないでしょうか。

A あなたの意図はどうあれ、担当顧客の子息に古いパソコンを供与すれば、そのコンピューターで不正な利益を得ようと画策していると見なされる可能性があります。また、会社からはコンピューターを破壊するよう指示されています。 監査では当グループの資産を正しく登録していないと判断されるでしょう。　さらには、ハードドライブ内の情報を残らず消去しようと最大限の努力を払ったとしても、コンピューターから機密情報を回復できる可能性がないとも限りません。

「泳ぎ方なら、流れに身を
任せよう。信念なら、
岩のように不動を
貫こう」

汚職防止

エリオットグループとその従業員は、自由で公正な競争を尊び、競争を制限する商慣行は看過も加担もしません。

当グループの従業員、営業、サプライヤー、請負業者、ベンダーなど、エリオットの代理人として行動しているすべての関係者も、ビジネスの透明性を維持し、最高レベルの倫理基準を順守することが義務付けられています。米国海外腐敗行為防止法、日本の不正競争防止法や国家公務員倫理法、英国贈収賄禁止法など、ビジネスを展開するすべての国のすべての法にエリオットグループは準拠します。 いかなる状況下においても、エリオットグループが反社会勢力や活動禁止処分を受けた政治団体との関係や取引に及ぶことはありません。

世界中どこであれ、エリオットグループが賄賂を提供、要求、受理することはありません。 エリオットグループは、価格協定、談合、詐欺、脱税、違法な輸出入など、一般的社会規範に反する取引には加担しません。

質問例

Q アジアのある国で、当グループの営業が腐敗した商慣行に加担していると聞きました。 しかし証拠や補足情報は何もありません。 どうしたらよいでしょうか。

A 聞いた話があるなら、伝えてください。 この問題はグローバルコンプライアンスオフィスに相談してください。 エリオットグループは、当グループの営業に関する申し立てを深刻に受け止めます。エリオットの分身と見なされる営業の行動は、グループに影響を及ぼします。当グループが知らなかったとしても、その行動はグループを巻き込みます。エリオットが営業や第三者と結ぶ契約により、エリオットは営業の活動を監査し、当グループの行動基準や法へのコンプライアンスを確認し、契約を打ち切ることができます。

Q 石油メジャーが、プラント数カ所用の複数の設備トレーンを含む大型プロジェクトに向けて、エリオットグループと多数の競合他社を入札参加者に指名しました。このお客様はプロジェクトを6つのパッケージに分割し、各入札者が最大3つのパッケージに入札できるとしています。 比較的小規模な入札参加企業が、自分たちを下請けにすれば、4つ以上のパッケージに関われるとして、エリオットに協力を持ちかけてきました。 この企業と協力して機会拡大を模索できますか。

A これは、お客様が出した条件の裏をかき、競合せずにエリオットグループの受注を増やす企てです。今後、他の入札者との話し合いは拒否してください。同時に、上司とグローバルコンプライアンスオフィスにこの提案のことを直ちに報告してください。

「インテグリティ
を保つには、時に
大きい代価を要す
るが、道徳を歪め
た代償は、それより
はるかに大きい」

制裁および貿易禁輸措置

国が制裁を加えようとする国や個人に操られた他の国、グループ、企業に対して、国が経済制裁を科す場合が時々あります。こうした制裁では、企業や市民が制裁対象と取引できなくなるのが一般的です。

エリオットグループとその従業員は、あらゆる経済制裁、貿易制裁に準拠しなければなりません。エリオットグループも、その従業員も、制裁対象となっている国、国民、代理店、関連会社とは、いかなるビジネスも行うことはできません。

アメリカ合衆国は、キューバ、イラン、クリミア（ウクライナ領）、北朝鮮、シリアに制裁を課し、取引を禁止しているため、これらの国々とは取引できません。　米国の企業や個人が事業相手とすることを禁じられた国、組織、人物の一覧は、財務省外国資産管理局が管理する以下のウェブサイトで確認できます。

http://www.treas.gov/offices/enforcement/ofac/

取引が経済制裁や輸出禁止の対象となるかどうかは、グローバルコンプライアンスオフィスに確認してください。

質問例

Q 製品のエンドユーザーに関する情報を一部しか開示しない製造調達請負業者がいます。　この情報が欠けていても発注できますか。

A この発注は許可されません。　エリオットグループは、すべての輸出規制、貿易規制、経済制裁に準拠するよう従業員と営業に義務付けており、そのためにエンドユーザーを確認する必要があります。この情報がないと、当グループがコンプライアンスを守っているかどうかを確認できません。

Q 外交交渉から、中東諸国に対する経済制裁は間もなく緩和される見込みです。この国の大規模石油企業からエリオットに対し隣国でその企業のマネージャと会い、将来のプロジェクトについて話し合いたいとの誘いがありました。この会議に参加できますか。

A この会議には参加できません。経済制裁、貿易制裁はまだ継続中です。　これらの制限を緩和または終了する旨の協定がなされる前は行動できません。　違反は刑事告発や重大な罰金の原因となる場合があります。　この誘いについてすぐに上司、法務部、グローバルコンプライアンスオフィスのいずれかに報告してください。

◁ Micheal Josephson

「常に健全な行動を目指すこと。
それが一部の人には喜びを与え、
残りの人には驚きを与える」

政治活動

エリオットグループは、国や市町村の政府関係者に当グループの事業の性質や公共政策上の問題について理解が得られるよう取り組みます。 これらの活動は、エリオットグループ経営陣が導き、指揮します。

エリオットグループは、コミュニティや政治問題に市民として関わり、それぞれの選択する政治家候補を支援するよう従業員に推奨しています。 政治活動へは、各従業員の個人的時間に各自の出費の下で関与し、エリオットグループに弁済を求めないこと。

エリオットグループの資産内では党利党略を行わず、従業員の個人的政治活動がエリオットグループの出資や推奨を受けていると誤解されないようにしてください。

エリオットグループの従業員は、当グループの資金やサービスを利用して政治的活動や候補者の選出に影響を及ぼさないでください。 企業資金による貢献やその他の形を取った候補政治家、委員会、利害関係者への支援は、エリオットグループの経営執行部とグローバルコンプライアンスオフィスから承認を得る必要があります。

質問例

Q エリオットグループのお得意様企業の上級経営幹部が辞職して政党に入ることとなりました。この人物は、長年エリオットを強力に後押ししてくれた相手です。 この人物の選挙キャンペーンに対し、エリオット名義で寄付してもよいでしょうか。

A 自分の余暇や費用の範囲で個人的にこの人物を応援しても構いませんが、エリオットが政治候補や政治理由を支援するためのリソースを使用することはできません。エリオットグループからの寄付は、将来のビジネスに不正な影響力を及ぼそうとする試み、政治的判断に影響力を及ぼそうとする試みと取られる可能性があります。

Q 経済活動重視の州議会議員候補者のために設けられたディナーに参加しました。 この候補者はエリオットグループに利するポリシーを支援します。 このディナーの費用を費用報告に載せ、返金を要求しても構いませんか。

A いいえ、エリオットグループがディナーの費用を負担すれば、エリオットからの政治献金と見られてしまいます。

「自問する質問によって将来どのよ
うな人物になるかがわかる」

利益相反

エリオットグループの従業員は、個人的利益とエリオットグループに対する義務との間で、実際または見かけ上の利益相反を生むいかなる活動も避けなければなりません。　各状況が事実に基づいて評価されます。従業員本人または従業員の家族や友人による、以下に説明するような活動は、利益相反を生む可能性があります。

- エリオットグループと直接利益を競う、または競うと見られるような活動
- 個人または家族の利害、友情に影響を受けた、または受けたと見られるビジネス判断
- エリオットでの責務で得られる業務実績や利益を減じる社外雇用
- 恋愛関係にある人物や親族を雇用または監督すること、あるいは直接の上下関係に置くこと
- 会社の資産、情報、リソースを自分自身を含め、誰かの利益を守るために使用すること
- サプライヤー、お客様、エリオットグループの競合他社の個人的メリットを受けること、または金銭的利益を得ること

エリオットグループは、不正がみうけられる従業員の関係や行動を調査する権利を持っています。従業員は、利益相反をもたらす可能性のある、またはそう思われる、あらゆる状況を開示するよう求められます。利益相反を生む可能性がある状況を開示できないことは、不適切な行動です。

質問例

Q 機械加工のため、外部サプライヤーに工場のタービンコンポーネントを送る予定です。 エリオット工場のエンジニアが昨年退職して独立自営している工場です。 すばらしい仕事をします。 特に手続きをせず、このまま部品を送ってもよいですか。

A 最も考慮すべき事柄は、エリオットやエリオットのお客様にとって最適価格で発注する代わりに元同僚に仕事を回すことのようです。 競争入札を得るために承認を受けた所定の購買プロセスに従わず、退職した元エリオット従業員に部品を送ると、利益相反と見られる可能性があります。　元エリオットエンジニアは、最も厳しい入札を勝ち抜いて受注する必要があります。

Q 他部門のマネージャの子息が雇用され、私たちのチームに加わりました。これは許容されているのでしょうか。

A はい。 親族どうしが同じ事業部で働くことは可能です。　ただし、自分の親族を雇用、監督したり、親族の管理に影響を及ぼしたりすることは、許容されません。　親族や友人であることが、客観性やエリオットへの忠誠を矯めるのであれば、利害対立が成立します。 従業員間の関係に懸念がある場合は、上司またはグローバルコンプライアンスオフィスに連絡しましょう。

「間違いを犯したと気づいたら、すぐにそれを正しましょう」

正確で完全な記録、および監査手順

エリオットグループの従業員は、適度に詳しく記載された経費関連書類など、すべての取引を欠けるところなく正確に反映した信頼に足る記録を保持する必要があります。詐欺、ねつ造、紛らわしい財務入力情報などは、重大な違反であり、免職を含む懲戒処分の対象となります。

エリオットの財務報告におけるインテグリティと信頼性には、正確で信頼でき、透明性のある記録が極めて重要です。　エリオットの従業員は、書類や記録を作成する際、会社のポリシー、各種手続き、ガイドラインに従わなければなりません。　エリオットグループでは、事業記録を定期的に監査します。

エリオットグループの従業員には、問い合わせ、監査、調査の間、監査役、法務部、グローバルコンプライアンスオフィスへの協力を求められます。

質問例

Q 新しいコンプレッサコンポーネントのいくつかのモデルに作成したファイルを共有したことで監査役から質問を受けました。 私はコンプレッサチーム外の人員のため、監査を受けることは予期していませんでした。どうしたらよいでしょうか。

A 監査や調査には協力する義務があります。リクエストに不安であれば、ファイルを共有する前に上司と相談しなければならないと説明してください。そうすれば上司が要請についてグローバルコンプライアンスオフィスと折衝します。

Q 所属する事業部門では、四半期収入予測を満たさなくてはならないというプレッシャーがかかっています。　前四半期は、マネージャが予測値をこの四半期内に達成すると考え、予測目標達成のために、不正確な数字を報告した可能性があります。どうしたらよいでしょうか。

A 疑わしい入力については、すぐグローバルコンプライアンスオフィスに報告してください。　不正確な情報の報告は、決して許されません。エリオットグループでは、すべての帳簿、記録が正確であることが求められています。

「チームの強さは、それを構成する個人
個人の強さ次第。 個人の強さは、チー
ムの強さとなります」

知的財産権、特許、著作権、商標

エリオットグループは、特許、著作権、商標など、他社が保有する知的財産権を侵害しません。著作権の通知が対象物の目立つところに表示されていない場合であっても、所有者が著作権保護を請求する可能性があります。

エリオットグループの製品、あるいはエリオットの所有物であることが明確に識別できる場合を除いて、自分たちが適切な使用権を得ているかどうかを把握しなければなりません。 エリオットは米国著作権料精算センターとライ センス契約を結んでおり、エリオット従業員が業務の一環で読んだり定期的に使用したりする出版物の多くにつき、情報を再生、共有することができます。 出版物がこのライセンスの範囲内かどうかは、米国著作権料精算センターのウェブページ（www.copyright.com）で簡単に確認できます。

未承認のソフトウェアなど、著作権で保護された対象を再生または配布することはできません。 承認なしで著作権のある著作物を複製すると、当の従業員のみならず、エリオットグループまで賠償責任に問われる可能性があります。

質問例

Q 貿易関連の出版物ですばらしい記事を読みました。チームが現在担当するプロジェクトと直接関係ある、性能仕様の見事なサマリーです。 この記事をコピーし、参考資料としてチームで共有できますか。

A いかなる記事も、コピーして配る前に米国著作権料精算センターのウェブページで確認してください。「Get Permission」（許可情報を表示）ボックスに出版物名を入力します。 表示されるリストに問題の出版物名が含まれていれば、コピーできます。リストに含まれていなければ、この記事の可能な利用方法について法務部と話し合ってから、コピーや配布を行います。

情報と会社の資産を保護

エリオットグループでは、従業員一人ひとりに会社の資産を守る責任があります。 会社の資産には、エリオットの物理的設備や資産、また財務データ、契約、販売契約、顧客記録、事業可能性、製品設計、図面などの機密情報が含まれます。

エリオットグループでは、社内情報に関しては守秘義務があります。従業員は、開示が認可、または法的に強制された時を除き、エリオットまたはその顧客より任せられた情報に関して守秘義務があります。

質問例

Q 現在お客様と担当しているプロジェクトのファイルがUSBメモリスティックに入れて保存しています。出張から帰ってきてみると、メモリスティックの在りかがわからなくなっていました。 どうしたらよいでしょうか。

A 情報の損失について、即座に上司に報告してください。 お客様や、情報が洩れてしまったお客様には、これを通知しなければなりません。 上司や事業部門部長が、この状況をお客様にどう説明すべきか助言します。

「人類のすばらしさは、その世代が次の
世代の幸福のために代々投資し続けてき
たことです」

◁ Fred Rogers

901 North Fourth Street
Jeannette, PA 15644-1473
電話: 724-527-2811
Fax: 724-600-8442
電子メール: info@elliott-turbo.com
www.elliott-turbo.com

© 2019 Elliott Group

COR.1009.0319